

【書類名】要約書

【要約】

【課題】 可変出力機構を備えている車両用ブレーキ装置において、諸元の相違に拘らず共通の演算式等を用いてブレーキ力を簡単に制御できるようにする。

【解決手段】 可変出力機構20により、操作ペダル16の踏力が倍力して出力部材22に伝達されるとともに、その倍力率が踏込みストロークに応じて連続的に変化させられる車両用ブレーキ装置10において、可変出力機構20の第2レバー36と出力部材22との間に荷重センサ40を設け、出力部材22に加えられる出力を検出してブレーキ力を制御するようにした。これにより、機械的にブレーキ力を発生させる従来と同様の好適な操作フィーリングが得られるとともに、踏込みストロークに応じて可変出力機構20の倍力率を細かく計算したり各部のがたつきを考慮して補正したりする必要がないため、諸元が異なる車両用ブレーキ装置に対しても、共通の演算式等を用いてブレーキ制御することが可能となる。

【選択図】 図2